

安全性データシート

改定日: 2017年7月21日

発行日: 2007年4月23日

SDS番号: 157B-29

セクション 1: 物質 / 混合物、および企業 / 業務の識別

1.1. 製品識別

725 ニッケル・アンチシーズ・コンパウンド (バルク)

1.2. 物質または混合物の関連識別用途、並びに推奨用途

石油ベース。ステンレス、鋼鉄、鉄、アルミニウム、銅、真鍮、チタンなどに使用してください。酸素システムには使用しないでください。

1.3. 安全性データシートのサプライヤ情報

会社:

A.W. CHESTERTON COMPANY

860 Salem Street

Groveland, MA 01834-1507, USA

電話: +1 978-469-6446 Fax: +1 978-469-6785

(月-金: 8:30-5:30 PM 東部標準時)

SDSの要求: www.chesterton.com

Eメール (SDSに関する質問): ProductMSDSs@chesterton.com

Eメール: customer.service@chesterton.com

供給元:

1.4. 緊急時電話番号

1日24時間、年中無休

Infotrac (追跡) 電話番号: +1 352-323-3500 (料金受信人払い通話)

セクション 2: 危険有害性の要約

2.1. 物質または混合物の分類

2.1.1. 欧州規制1272/2008 [CLP] / GHSによる分類

皮膚感作性 1, H317

発がん性 2, H351 (吸入)

STOT 反復暴露 1, H372 (肺, 吸入)

水生慢性 3, H412

2.1.2. 追加情報

H(危険)ステートメントの全文: セクション2.2および16を参照。

2.2. ラベル項目

欧州規制1272/2008 [CLP] / GHSによるラベル付け

危険の絵表示:



信号語: 危険

危険有害性情報:	H317	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。
	H351	吸入すると発癌する疑いがあります。
	H372	長期にわたる吸引、度重なる吸引は肺に損傷を与えます。
	H412	長期的影響により水生生物に有害。

使用上の注意:	P201	使用前に取扱説明書を入手すること。
	P264	使用后、手、顔、接触した皮膚を充分洗浄してください。
	P270	この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
	P272	汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
	P273	環境への放出を避けること。
	P280	保護手袋/保護衣/保護眼鏡を着用すること。
	P302/352	皮膚に付着した場合: 多量の水と石鹼で洗うこと。
	P308/313	暴露または暴露の懸念がある場合: 医師の診断/手当てを受けること。
	P362/364	汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
	P501	許可された廃棄物処理プラントで内容物/容器を処分してください。

補足情報: なし

2.3. その他の危険性

既知の影響なし

セクション 3: 組成、成分情報

3.2. 混合物

危険成分 ¹	重量%	CAS番号 / EC番号	CLP/GHS分類
蒸留物(石油)、水素化処理された重ナフ テン酸**	35-45	64742-52-5 265-155-0	吸引性呼吸器有害性 1, H304
ニッケル	25-30	7440-02-0 231-111-4	発がん性 2, H351 (吸入) STOT 反復暴露 1, H372 (肺, 吸入) 皮膚感作性 1, H317 水生慢性 3, H412
水素化処理された重ナフサ(石油)*	1-3	64742-48-9 265-150-3	引火性液体 3, H226 吸引性呼吸器有害性 1, H304 STOT 単回暴露 3, H336
メタノール	0.1-0.3	67-56-1 200-659-6	引火性液体 2, H225 急性毒性 3, H331, H311, H301 STOT 単回暴露 1, H370 眼刺激性 2A, H319

その他の成分:

アルミニウム	5-10	7429-90-5 231-072-3	分類されていません ^a
グラファイト	1-5	7782-42-5 231-955-3	分類されていません***

H(危険)ステートメントの全文: セクション16を参照。

*ベンゼンの含有量は0.1 % w/w 以下。**IP 346の測定によるとDMSO抽出物の含有量は3%以下。

***職場での暴露限界のある物質。^a可燃性と水反応性に対しては、それぞれ、国連テスト N 1 と N 5 に基づき、分類されていません。

¹分類基準: * 労働安全衛生法

* 毒物および劇物取締法

* GHS, 1272/2008/EC, REACH

セクション 4: 応急処置**4.1. 応急処置情報**

- 吸入:** 新鮮な空気のある場所へ移動してください。呼吸が停止している場合は、人工呼吸を実行してください。医師の診断を受けてください。
- 皮膚への付着:** 石鹼水で皮膚を洗浄してください。汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。刺激が持続する場合は医師の診断を受けてください。
- 目に入った場合:** 大量の水で目を最低15分間洗い流してください。刺激が持続する場合は医師の診断を受けてください。
- 呑み込んだ場合:** 無理に吐かせないでください。直ちに医師の診断を受けてください。

4.2. 最も重要な徴候と影響 (急性および遅延)

高濃縮蒸気および直接接触は目や呼吸器系に激しい刺激を与えることがあります。長時間あるいは繰り返し皮膚に付着すると、皮膚にかすかな刺激を与えることがあります。発疹やジンマシンのような皮膚の過敏を起こすことがあります。

4.3. 緊急に医師の診察および特別な治療が必要な徴候

症状の手当てをしてください。

セクション 5: 火災時の処置**5.1. 消火剤**

- 適切な消火剤:** 二酸化炭素, 乾燥薬品, 発泡 あるいは 水霧
- 不適切消火剤:** 大量の水噴射

5.2. 物質または混合物から生じる特別な危険性

なし

5.3. 消防の際のアドバイス

熱に晒された容器は水で冷却してください。消防士に自給式呼吸器の着用を勧めてください。

セクション 6: 漏出時の処置**6.1. 作業者の注意、保護装備、緊急時の手順**

セクション8で指定された露出制御と人体保護を利用してください。

6.2. 環境に対する注意

下水、河川、水路に流さないでください。

6.3. 閉じ込めおよび清掃の方法・材料

廃棄用容器に回収してください。

6.4. 他のセクションの参照

廃棄処理についてはセクション13を参照してください。

セクション 7: 取扱い及び保管上の注意**7.1. 安全な取扱いのための注意**

正しい就業態度を守ってください。炭化水素を使用する間、作業区域で飲食、喫煙をしないでください。セクション8で指定された露出制御と人体保護を利用してください。汚染された衣服を脱ぎ、再使用する前に洗ってください。汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

7.2. 安全な保管のための条件 (配合禁忌を含む)

熱や湿気のない所に保管してください。

7.3. 具体的な最終用途

予防策は特になし。

セクション 8: 暴露防止及び保護措置

8.1. 管理パラメーター

成分	日本産業衛生学会 OEL		ACGIH TLV	
	ppm	mg/m ³	ppm	mg/m ³
オイルミスト、鉱物物	-	3	(吸引可能)	5
ニッケル*	-	1	(吸引可能)	1.5
水素化処理された重ナフサ(石油)	-	-	-	-
メタノール	200	260	200 STEL: 250	(皮膚)
アルミニウム*	(吸引可能) (総塵)	0.5 2	(吸引可能)	1
グラファイト*	(吸引可能) (総塵)	0.5 2	(吸引可能)	2

*本製品内のアルミニウムとグラファイトは混合物から分離したり空気中で運ばれたりしないので、通常の使用では危険はありません。

8.2. 曝露制限

8.2.1. 設備対策

条件は特になし。許容限界を超える場合は、充分換気してください。

8.2.2. 作業員の保護対策

呼吸器系の保護: 通常不必要。許容限界を超える場合は、認可された有機蒸気呼吸マスクを使用してください
(例: 欧州規格フィルタータイプ A/P2)。

手袋: 耐薬品性手袋(例: ニトリルゴム)

ニッケル:

皮膚付着タイプ	手袋の材質	手袋の層厚	破過時間*
全面	ニトリルゴム	0.11 mm	> 480 分
しぶき	ニトリルゴム	0.11 mm	> 480 分

*EN374基準により決定。

目 / 顔の保護: 安全メガネ

その他: なし

8.2.3. 環境暴露措置

セクション 9: 物理的及び化学的性質

9.1. 基本的な物理・化学的性質に関する情報

形状	ペースト	臭気	石油臭
色	グレー	においの閾値	
初留点	未定	20・Cでの蒸気圧	未定
融点	未定	重量比芳香物含有率 (%)	約。0.28%
揮発率%(容量比)	5%	pH	適応せず
引火点	95° C	相対密度	1.29 kg/l
方法	PM閉カップ	係数(水/油)	< 1
粘度	1 百万 cps @25° C	蒸気密度(空気=1)	> 1
自己発火温度	未定	蒸発率(エーテル=1)	< 1
分解温度	未定	水溶性	ごくわずか
高/低引火性あるいは高/低爆発限界	未定	酸化性	未定
引火性(固体、ガス)	適応せず	爆発性	適応せず

9.2. その他の情報

なし

セクション 10: 安定性及び反応性

10.1. 反応性

混合物のデータはなし。ニッケルは酸に激しく反応し水素を遊離させ、この水素が空気と混合して爆発物を生成することがあります。

10.2. 化学的安定性

安定

10.3. 危険な反応の可能性

通常の使用条件では危険反応は起こっていません。

10.4. 避けるべき条件

炎、熱、スパーク、および高熱表面。

10.5. 配合禁忌薬品

酸、液体塩素や濃縮酸素のような強力酸化剤。

10.6. 危険な分解物

一酸化炭素、二酸化炭素、その他の有毒煙。

セクション 11: 有害性情報

11.1. 毒性影響に関する情報

通常使用時の主な接触経路: 吸引、皮膚や目への付着。

急性毒性 -

経口:

物質	テスト	結果
蒸留物(石油)、水素化処理された重ナフテン酸	致死量50(LD50), ラット	> 5000 mg/kg, 推定
ニッケル	致死量50(LD50), ラット	> 9000 mg/kg
アルミニウム	致死量50(LD50), ラット	> 2000 mg/kg, 類推
グラファイト	致死量50(LD50), ラット	> 2000 mg/kg
メタノール	致死量50(LD50), ラット	5628 mg/kg
メタノール	人体致死量	143 mg/kg
水素化処理された重ナフサ(石油)	致死量50(LD50), ラット	> 15000 mg/kg

経皮:

物質	テスト	結果
蒸留物(石油)、水素化処理された重ナフテン酸	致死量50(LD50), ラット	> 2000 mg/kg, 推定
水素化処理された重ナフサ(石油)	致死量50(LD50), うさぎ	> 3160 mg/kg

吸入:

高濃縮蒸気および直接接触は目や呼吸器系に激しい刺激を与えることがあります。

物質	テスト	結果
蒸留物(石油)、水素化処理された重ナフテン酸	致死濃度50(LC50), ラット, 4時間	> 5 mg/l, 推定
ニッケル	NOAEC, ラット, 1 時間	> 10.2 mg/l (粉塵)
アルミニウム	致死濃度50(LC50), ラット, 4 時間	> 0.888 mg/l (粉塵)
グラファイト	致死濃度50(LC50), ラット, 4 時間	> 2 mg/l (粉塵)
メタノール	致死濃度50(LC50), マウス, 134 分	79.43 mg/l

皮膚腐食 / 刺激:

長時間あるいは繰り返し皮膚に付着すると、皮膚にかすかな刺激を与えることがあります。

物質	テスト	結果
蒸留物(石油)、水素化処理された重ナフテン酸	皮膚の炎症, うさぎ	炎症なし
アルミニウム	皮膚の炎症, うさぎ	炎症なし
グラファイト	皮膚の炎症, うさぎ	炎症なし

重篤な目の損傷 / 刺激:

物質	テスト	結果
蒸留物(石油)、水素化処理された重ナフテン酸	目の炎症, うさぎ	炎症なし

呼吸器または皮膚の感作: 発疹やジンマシンのような皮膚の過敏を起こすことがあります。

物質	テスト	結果
蒸留物(石油)、水素化処理された重ナフテン酸	皮膚の過敏, モルモット	過敏性なし
アルミニウム	皮膚の過敏, モルモット, 類推	過敏性なし
グラファイト	皮膚の過敏, (OECD 429), マウス	過敏性なし
メタノール	皮膚の過敏, モルモット	過敏性なし

胚細胞突然変異原性: 蒸留物(石油)、水素化処理された重ナフテン酸, ニッケル, アルミニウム, グラファイト, メタノール: 入手可能なデータによると分類基準を満たしていません。

がん原性: 国家毒性プログラム (NTP) は、吸引テストの結果に基づき、粉末ニッケルを発ガン性の疑いのある物質に指定しています。国際がん研究機関(IARC) はニッケルを発ガン性の疑いのある物質に指定しています(グループ 2B)。本製品に含まれるニッケルは粉末状ではないので、通常の使用では危険はありません。米国国立労働安全衛生研究所 (NIOSH) は摂取したニッケル金属の発ガン性が証明できないという結論に達しました。ニッケル製造および消費産業の作業員疫学データによれば、現在までニッケル金属が発ガン性であることを示す根拠はありません。最近の動物(ラット)吸引試験によると、ニッケル金属粉が呼吸器ガンを起こす危険を高めることはなく、ニッケル金属を発がん性物質に分類する理由はありません。

生殖毒性: 蒸留物(石油)、水素化処理された重ナフテン酸, ニッケル, アルミニウム, グラファイト, メタノール: 入手可能なデータによると分類基準を満たしていません。

STOT - 単回暴露: 蒸留物(石油)、水素化処理された重ナフテン酸, ニッケル, アルミニウム, グラファイト: 入手可能なデータによると分類基準を満たしていません。メタノール: 臓器の障害。

STOT - 反復暴露: ニッケル: 長期にわたる吸引、度重なる吸引は肺に損傷を与えます。アルミニウム, グラファイト, メタノール: 入手可能なデータによると分類基準を満たしていません。

吸引性呼吸器有害性: 入手可能なデータによると分類基準を満たしていません(粘度)。

その他の情報: なし

セクション 12: 環境影響情報

本製品用に特別に決定された生態毒性データはありません。以下の情報は類似した物質の成分と生態毒性に基づいています。

12.1. 毒性

水生生物に有害です。また水生環境に長期にわたり悪影響を与える恐れがあります(成分データによると)。

12.2. 持続性・分解性

水素化処理された重ナフサ(石油), 蒸留物(石油)、水素化処理された重ナフテン酸: 本来生分解性(31% 3409 OECD 301F, 28日)。ニッケル, アルミニウム, グラファイト: 無機物質。メタノール: 直ちに生分解可能。

12.3. 生物蓄積の可能性

蒸留物(石油)、水素化処理された重ナフテン酸, ニッケル, アルミニウム, グラファイト, メタノール: 生体内蓄積しません。

12.4. 土壌中の移動性

ペースト。水溶性: ごくわずか。環境移動性を決定する際は、本製品の物理、化学特性を考慮してください(セクション9参照)。

12.5. PBT・vPvB評価の結果

入手不可

12.6. その他の悪影響

既知の影響なし

セクション 13: 廃棄上の注意**13.1. 廃棄処理方法**

処分する前に、ニッケルの適切な処理基準を必ず遵守してください。
本製品はEC理事会指令2008/98/ECで危険廃棄物に指定されています。
地方自治体、国家条例を調べ、最も厳しい条件を遵守してください。

セクション 14: 輸送上の注意**14.1. UN番号**

ADR/RID/ADN/IMDG/ICAO: 適応せず
TDG: 適応せず
US DOT: 適応せず

14.2. UN固有輸送名

ADR/RID/ADN/IMDG/ICAO: 無害、規制なし
TDG: 無害、規制なし
US DOT: 無害、規制なし

14.3. 輸送危険性分類

ADR/RID/ADN/IMDG/ICAO: 適応せず
TDG: 適応せず
US DOT: 適応せず

14.4. 梱包グループ

ADR/RID/ADN/IMDG/ICAO: 適応せず
TDG: 適応せず
US DOT: 適応せず

14.5. 環境への危険性

適応せず

14.6. ユーザーへの特別な注意

適応せず

14.7. Marpol 73/78附則IIIによる貨物輸送およびIBCコード

適応せず

14.8. その他の情報

適応せず

セクション 15: 適用法令**15.1. 物質または混合物に固有の安全性・保健・環境規制 / 法規**

日本PRTR	クラスI薬品: ニッケル	クラスII薬品: なし
--------	-----------------	----------------

その他の国内規制: なし

セクション 16: その他の情報

略語一覧: ACGIH:米国産業衛生専門家会議
ADN:内陸水路による危険物の国際輸送に関する欧州協定
ADR:道路による危険物の国際輸送に関する欧州協定
ATE:急性毒性推定値
BCF: 生物濃縮係数
cATpE: 変換後の急性毒性推定値
CLP:分類、ラベル、包装に関する法規(1272/2008/EC)
GHS:世界調和システム
ICAO:国際民間航空機関
IMDG:国際海上危険物規定
LC50:試験動物の50%を死亡させる致死濃度
LD50:試験動物の50%を死亡させる投与量
LOEL:最小作用量
NOEC:最大無作用濃度
NOEL:最大無作用量
N/A:該当せず
PBT:難分解性、生物蓄積性および有毒性を有する物質
PEL:許容暴露限度
REACH:化学物質の登録、評価、認可および制限に関する規制(1907/2006/EC)
RID:鉄道による危険物の国際輸送に関する規定
SDS:安全性データシート
STEL:短時間暴露許容濃度
STOT: 特定標的臓器毒性
TDG:危険物輸送に関する勧告(カナダ)
TLV:暴露限界
US DOT:米国運輸省
vPvB:極めて難分解性で高い生物蓄積性を有する物質
その他の略語はwww.wikipedia.orgで調べることができます。

主な参考文献およびデータ出典: 独立行政法人 製品評価技術基盤機構(通称 ナイト、NITE)
欧州化学物質庁(ECHA) - 化学物質に関する情報
スウェーデン化学物質庁(KEMI)
米国国立医学図書館毒物学データネットワーク (TOXNET)
化学分類および情報データベース(CCID)

GHSによる混合物の分類方法:

分類	分類手順
皮膚感作性 1, H317	算出方法
発がん性 2, H351	算出方法
STOT 反復暴露 1, H372	算出方法
水生慢性 3, H412	算出方法

関連するH(危険)-ステートメント:

- H225: 引火性の高い液体および蒸気。
- H226: 引火性の液体および蒸気。
- H228: 可燃性固体。
- H301: 飲み込むと有毒。
- H304: 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ。
- H311: 皮膚に接触すると有毒。
- H315: 皮膚刺激。
- H317: アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。
- H319: 強い眼刺激。
- H331: 吸入すると有毒。
- H336: 眠気やめまいのおそれ。
- H351: 吸入すると発癌する疑いがあります。
- H370: 臓器の障害。
- H372: 長期にわたる吸引、度重なる吸引は肺に損傷を与えます。
- H411: 長期的影響により水生生物に毒性。
- H412: 長期的影響により水生生物に有害。
- H372D: 長期にわたる暴露、度重なる暴露は中枢神経系に損傷を与えます。

危険の絵表示名: 健康有害性; 感嘆符

本改訂によるSDSの変更: セクション 1.3, 2.1, 2.2, 3, 4.1, 8.1, 16.

その他の情報: なし

本情報は使用物質の供給元が発行したデータにのみ基づいており、混合物自体に基づくものではありません。
 使用者の特別な目的に対する製品の適合性に関する保証は一切明示、暗示されていません。
 適合性は使用者自身が決定しなければなりません。